

紀要編集・発行に関する細則

制定	平成5年7月28日
改正	平成10年2月4日
改正	平成10年11月4日
改正	平成13年6月6日
改正	平成14年7月3日
改正	平成16年6月16日

(目的)

第1条 この細則は、兵庫県立看護大学紀要委員会規程第7条の規定に基づいて、紀要の編集・発行に
関して必要な事項を定める事を目的とする。

(名称)

第2条 本学が発行する紀要の名称は、「兵庫県立大学看護学部紀要」（以下「紀要」という。）とする。

(編集)

第3条 「紀要」の編集は、紀要委員の中で選任された編集委員が行う。

(発行)

第4条 「紀要」は、年1回定期的に発行する。ただし、特別に必要があると紀要委員会が認めたとき
は、臨時にこれを発行することができる。

(投稿資格)

第5条 「紀要」への投稿資格者は次のとおりとする。

- (1) 本学専任教員
- (2) 非常勤講師
- (3) 元本学専任教員；研究内容が本学在職中のものに引き続くものであること。
- (4) 本学大学院生、研究生、研修員；いずれも本学専任教員との共同研究であること。
- (5) 学外者；本学専任教員との共同研究であること。
- (6) その他紀要委員会が投稿を依頼した者、紀要委員会が適当と認めた者。

(掲載範囲)

第6条 「紀要」に掲載する内容は次のとおりとする。

- (1) 研究論文（未発表のものに限る。）
- (2) 研究報告（未発表のものに限る。）
- (3) 総説
- (4) 研究業績
- (5) その他

(掲載の選択)

第7条 「紀要」への掲載の選択は、紀要委員会がこれにあたる。ただし、論文の内容によっては、紀要委員会が適当な第三者に、その審査を依頼することがある。

(別刷の費用)

第8条 別刷は、最高50部まで無料配付する。それを超える場合については、超過分を投稿者の負担とする。

(投稿要領)

第9条 投稿文の表紙に研究論文、研究報告、総説、その他の別を記し、投稿する際には、次の要領によるものとする。

- (1) 原稿は英文又は和文とし、原則としてワードプロセッサを用いること。
- (2) 和文原稿は、A4横書きで、1ページ22×39行とし、英文原稿は、1ページ90ストローク×45行とする。原稿総枚数は原則として和文は24枚以内、英文は10枚以内とする。図表（写真を含む）については、印刷面積により原稿枚数に換算する。
- (3) 原稿は、表紙、本文、図表および図の標題より構成されていること。表紙は、所定の原稿表紙を使用し、標題、著者名、所属機関（以上英文付記）、5語以内のキーワード、ランニングタイトル（英文45文字以内、和文30文字以内）連絡先住所を記載し、本文には、標題、著者名を記入しないこと。なお、和文、英文論文共に800字程度の和文抄録と、300語程度の英文抄録をつけること。
- (4) 図表はすべて本文とは別紙とし、原図は、そのまま製版が可能なものとする。
- (5) 引用文献は、掲載論文に関係ある主要論文にとどめ、本文中では該当人名あるいは事項の右肩に番号をつける。

また、稿末の文献一覧は、引用順で記載する。著者が複数名のときはすべての著者名を列記することが望ましい。ただし、著者が2名を越える場合には、先頭の著者1名を記載し、その他の著者名は、和文では“ほか”、欧文では“et al.”を用いて省略してもよい。投稿文内では引用方法を統一する。それぞれの記述形式は次のとおりとする。

- ①雑誌 著者名、論文名、雑誌名、巻数（号数）、出版年、最初頁－最終頁、例1）2）
ア 通しページと各号ごとのページの両方でページづけされている場合は、通しページを記載する。
- ②単行本 著者名、章の見出し、書名：副書名、編者名、版表示、出版地、出版者、出版年、総ページ数又は最初頁－最終頁（シリーズ名、シリーズ番号）、(ISBN) 例3）4）5）
ア 図書1冊を参照する場合は、総ページ数を、一部を参照する場合は、該当ページを記載する。
イ 翻訳者は、書名の後に役割表示をつけて記載する。
- ③電子文献 雑誌、単行本に準ずるが、オンラインの場合は入手先（アドレス）と入手日付を必ず記載する。例6）7）

例) 本文中：南¹⁾、LedezmaとBejan²⁾、清野ら³⁾によれば、…

引用文献稿末一覧

- 1) 南 裕子. 甘えネットワーク質問紙の作成と検定—その3. 看護研究. 20(3), 1987, 284-301.

- 2) Ledezma, G.; Bejan, A. Heat sinks with sloped plate fins in natural and forced convection. *International Journal of Heat and Mass Transfer*. 39(9), 1996, 1773-83.
 - 3) 清野裕ほか. インスリンならびにソマトスタチンレセプター遺伝子とその機能発現に関する食物因子の検索. 機能性食品の研究. 荒井綜一監修. 東京, 学会出版センター, 1995, 64-71. (ISBN 4-7622-9808-5)
 - 4) Basset, J.M. et al. Surface organometallic chemistry on oxides, on zeolites and on metals. *Perspectives in Catalysis: a 'Chemistry for the 21st Century' Monograph*. Thomas, J.M. et al., ed. Blackwell, 1992, 125-145. (ISBN 0-632-03165-4)
 - 5) Kessner, M.T. 新しい数学: ゲーム理論. 竹田一雄訳. 明石, CNAS出版, 1999, p255.
 - 6) 学術情報センター事業部. 目録システムコーディングマニュアル. 1998改訂版. 学術情報センター. (オンライン), 入手先<<http://www.cat.op.nii.ac.jp/CAT-ILL/MAN2/CM/mokuji.html>>, (参照2000-06-20).
 - 7) Mars Lander fails again to make contact. CNN.COM. 1999-12-05, updated 8:59p.m. EST. (online), available from<<http://www.cnn.com/>>.
- (6) 文献雑誌名の省略は、原則として和文は医学中央雑誌、欧文はIndex Medicusの採用する略語を用いる。いずれにも該当しないものは、正式雑誌名を記載する。
 - (7) 〔註〕についても、原則として引用文献と同様の要領によるが、各専門分野の慣用に従うこともできる。
 - (8) 原稿は、原本1部及びコピー2部を添え、紀要委員会に提出すること。郵送の場合は、封筒の表に「投稿論文」と朱書きし、書留便とすること。
 - (9) 研究論文の受諾が決定した場合、投稿者は原稿の入力されたフロッピーディスクを紀要委員会に提出すること。

(細則の改正)

第10条 この細則の改正は、紀要委員会の審議を経て、教授会で決定する。

附 則

この細則は、平成5年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成10年2月4日から施行する。

附 則

この細則は、平成10年11月4日から施行する。

附 則

この細則は、平成13年6月6日から施行する。

附 則

この細則は、平成14年7月3日から施行する。

附 則

この細則は、平成16年6月16日から施行する。